

2025年8月27日(水)

ランチョンセミナー

📅 2025年8月27日(水) 11:50 ~ 12:50 📍 1201教室(教育研究棟 1街区 2階 1201)

[RS-01] ランチョンセミナー①／コトブキシーティング株式会社

協力:コトブキシーティング株式会社

座長:木元 幹彦(コトブキシーティング株式会社)

※当日8:15から受付窓口『7番』にて食事券を配布します。(先着順定員制)

[ランチョン1]

学校にアートのあるスポーツ施設を作りませんか？

*工藤 安代¹ (1. アートプレイス株式会社)

ランチョンセミナー

📅 2025年8月27日(水) 11:50 ~ 12:50 📍 2202教室(教育研究棟 2街区 2階 2202)

[RS-02] ランチョンセミナー②／独立行政法人日本スポーツ振興センター

協力:独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター

※当日8:15から受付窓口『7番』にて食事券を配布します。(先着順定員制)

[ランチョン2]

国立スポーツ科学センターが考えるアスリート支援

演者:独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター

ランチョンセミナー

📅 2025年8月27日(水) 11:50 ~ 12:50 📍 1201教室(教育研究棟 1街区 2階 1201)

[RS-01] ランチョンセミナー①／コトブキシーティング株式会社

協力:コトブキシーティング株式会社

座長:木元 幹彦(コトブキシーティング株式会社)

※当日8:15から受付窓口『7番』にて食事券を配布します。(先着順定員制)

[ランチョン1]

学校にアートのあるスポーツ施設を作りませんか？

*工藤 安代¹ (1. アートプレイス株式会社)

ランチョンセミナー

📅 2025年8月27日(水) 11:50 ~ 12:50 📍 1201教室(教育研究棟 1街区 2階 1201)

[RS-01] ランチョンセミナー①／コトブキシーティング株式会社

協力:コトブキシーティング株式会社

座長:木元 幹彦(コトブキシーティング株式会社)

※当日8:15から受付窓口『7番』にて食事券を配布します。(先着順定員制)

[ランチョン1] 学校にアートのあるスポーツ施設を作りますか？

*工藤 安代¹ (1. アートプレイス株式会社)

これまでのランチョンセミナーでは、

- ・「体育館で子どもたちが安全に活動できるための仕切りとは」(2023年)
- ・「ロイヤルティを高め地域とともに応援できる学校体育施設とは」(2024年)を通して、国内だけでなく海外の学校体育施設やスポーツ観戦環境事例について紹介をまいりました。もうひとつ、ご紹介しておかなければならないテーマが「学校におけるスポーツ施設とアート」です。

アメリカの大学や高校のキャンパス内には、様々なアートがあります。スポーツ施設には、スクールアイデンティティと結びついたチームのマスコットやスクールカラーを配した空間があり、選手や観客をエキサイティングにさせるとともに、自然とスポーツを通じた母校へのロイヤルティの醸成を促します。日本でもアートのあるスポーツ施設が、子どもたちや選手だけでなく、観客やそこを訪れる人たちをワクワクさせ、新たな感動を創出することができると考え、海外事例をご紹介しながら、皆様と一緒にディスカッションできればと思っております。今回も日本の学校体育館の最新事例を含めご紹介してまいります。

ランチョンセミナー

📅 2025年8月27日(水) 11:50 ~ 12:50 📍 2202教室(教育研究棟 2街区 2階 2202)

[RS-02] ランチョンセミナー②／独立行政法人日本スポーツ振興センター

協力:独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
※当日8:15から受付窓口『7番』にて食事券を配布します。(先着順定員制)

[ランチョン2]

国立スポーツ科学センターが考えるアスリート支援

演者:独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター

ランチョンセミナー

📅 2025年8月27日(水) 11:50 ~ 12:50 📍 2202教室(教育研究棟 2街区 2階 2202)

[RS-02] ランチョンセミナー②／独立行政法人日本スポーツ振興センター

協力:独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
※当日8:15から受付窓口『7番』にて食事券を配布します。(先着順定員制)

[ランチョン2] 国立スポーツ科学センターが考えるアスリート支援

演者:独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター

国立スポーツ科学センター（JISS）は、世界最高の舞台で活躍するアスリートの競技力向上を支援している。開所以来25年間、JISSならではの支援とはどういうものかを組織として問い続けてきたが、ひとつの結論として、「パフォーマンス構造モデルに基づき、分野横断的に研究員と専門スタッフが連携する」ことが重要であるとの考えに至った。この考えに基づいて新たに設置した総合型サポートが初めて迎えるオリンピック・パラリンピックが昨2024年にパリで開催された。その成果を検証する中で、具体的なサポートの進め方はもちろんのこと、人材育成や競技団体との連携などに関する様々な課題が浮かび上がった。

このたびJISS編集の書籍「アスリート支援ハンドブック」が出版の運びとなったが、本書は、上に述べたスポーツの科学的支援の基礎となる考え方やサポートを進める上での諸課題をサポート事例と共にまとめたものである。本セミナーでは、パリ大会に向けたサポート活動の反省に関連付けながら本書の内容を紹介することとしたい。